

## センシング技術応用セミナー



### 少子高齢社会のロボティクス

日本発少子高齢時代の医療・介護・福祉・健康のためのロボティクス

日時: 2019年6月11日(火) 10:00~16:50

場所: (株)島津製作所 関西支社 マルチホール

#### ■所在地

〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目1-4

阪急ターミナルビル14階

TEL (06)6373-6522 FAX (06)6373-6524

#### ■アクセス

阪急・地下鉄・阪神梅田駅、JR大阪駅より徒歩1~数分  
※14階へは阪急ターミナルビル高層階用エレベーターをご利用ください。

主催: センシング技術応用研究会、  
(一社)大阪府技術協会

後援: (地独)大阪産業技術研究所



### 参加のおすすめ

超少子高齢社会を迎える日本において、少子化に伴う労働人口の減少と高齢化に伴う医療介護費増大が大きな課題です。ロボティクスの有効利用は社会の生産性向上のみならず、高齢者の健康寿命の延長とともに高齢者の社会貢献活動を促し、医療介護費の低減を可能にします。本セミナーではロボティクスの研究開発側と製品開発・実証実験現場からの講演を行います。

#### ■参加費(テキスト代・消費税を含む)

主催・協賛団体会員: 8,000円、一般: 10,000円、学生: 3,000円

\*参加者名、会社名・学校名、連絡先住所、電話、(主催、協賛、一般、学生)をご記入の上、申し込み先にメールまたはFAXでお申し込みください。

協賛団体(予定): (一社)電気学会、(一社)電子情報通信学会、(一社)次世代センサ協議会、  
(一社)日本機械学会、ニューセラミックス懇話会、(公社)応用物理学会  
(一社)KEC関西電子工業振興センター(一財)大阪科学技術センター他13学協会

※協賛団体の詳細につきましては、センシング技術応用研究会事務局にお問い合わせ下さい。

#### ■定員: 60名(先着順)

#### ■申し込み締め切り: 6月4日(火)

#### ■申し込み・問い合わせ先

センシング技術応用研究会

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-7-1 大阪産業技術研究所 和泉センター内

TEL : 0725-51-2534 FAX : 0725-51-2597

E-mail: sstj@dantai.tri-osaka.jp URL: <http://tri-osaka.jp/dantai/sstj/>

【開会挨拶】 センシング技術応用研究会 会長 奥山 雅則 氏 (10:00~10:05)

#### 【講演】

1. 「**安寧な超高齢社会を実現するロボット技術**」 (10:05~10:55)

大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 ロボット工学科アクチュエータ研究室  
教授 本田 幸夫 氏

超高齢社会日本の大きな社会課題は、人口動態が変わる中での持続的な経済成長と人手不足、元気高齢者の減少による要介護者増になります。これらを解決する手段の一つであるロボット技術によるイノベーションの現状と今後の課題を説明します。

2. 「**手術ロボットの現状と将来動向**」 (10:55~11:45)

大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 ロボット工学科 教授 河合 俊和 氏

患者の身体への負担が小さい内視鏡下手術を対象に、医師のハイエンドツールとして国内外で広まっている手術支援ロボットと、少子高齢化が進む日本に適した手術助手ロボット、さらには自律制御の動向を紹介します。

--- 昼休み --- (11:45~12:50)

3. 「**介護福祉ロボットの開発動向と展望**」 (12:50~13:40)

大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 システムデザイン工学科 教授 中山 学之 氏

社会の高齢化に伴う介護士の不足を補う存在として福祉ロボットへの期待が高まっていますが、実用化に向けては多くの課題が残されています。福祉ロボット開発の現状と問題点、現在の取り組みについて紹介します。

4. 「**医療・福祉・健康:神経学的セラピー用ロボット・パロ**」 (13:40~14:30)

産業技術総合研究所 柴田 崇徳 氏

アザラシ型ロボット・パロは、米国では医療機器です。認知症、ガン等の患者に対して、処方者が、痛み、不安、うつ、問題行動等を診断し、パロによるバイオフィードバック治療を処方すると、公的医療保険や民間医療保険で精算できます。

5. 「**サービスロボットへの期待と懸念 一心とは、ロボットの寿命とは一**」 (14:30~15:20)

藤田技術士事務所 所長 藤田 嘉美 氏

生活、医療、福祉分野で期待されるサービスロボットの感情センシング対象を釈迦の五蘊と関連付けてまとめ、IoT、ビッグデータ、AI面から懸念するリスクと脅威事項を整理したので、倫理面と寿命を含めて報告します。

--- 休憩 --- (15:20~15:30)

6. 「**介護機器・ロボットの導入に向けた実証事業のご紹介**」 (15:30~16:20)

(一社)i-RooBO Network Forum 事務局長 松出 晶子 氏

介護機器・ロボットの導入にあたっては、導入先となる施設の受け入れ体制を整えることも重要です。本講演では介護現場の業務効率化やサービス生産性の向上をめざした導入実証等の取り組みについてご紹介します。

7. **製品紹介「ロボットアシストウォーカーの開発」** (16:20~16:50)

RT.ワークス(株) 取締役 CTO 藤井 仁 氏

弊社は家電メーカーから分離独立したベンチャー企業です。家電業界で培った技術を用いて超高齢社会に対応べく、生活支援ロボットの電動アシスト歩行車を開発しました。製品紹介と開発ストーリー、今後の展望について紹介します。